

第3回 淀川左岸線延伸部の淀川左岸堤防区間に関する技術検討委員会
議事要旨

1. 日 時 : 令和3年6月30日(水) 15:00~16:40

2. 場 所 : 大阪合同庁舎新館 A 会議室(WEB 併用)

3. 出席者:

【委員】

◎大西 有三	京都大学 名誉教授
清野 純史	京都大学大学院 工学研究科 都市社会工学専攻 教授
佐々木 哲也	土木研究所 地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム 上席研究員
建山 和由	立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授
中川 一	京都大学 名誉教授
福島 雅紀	国土技術政策総合研究所 河川研究室長

【オブザーバー】

豊口 佳之	近畿地方整備局 河川部長(途中退席、代理出席)
三戸 雅文	近畿地方整備局 淀川河川事務所長(代理出席)

※ 敬称略、五十音順 ◎は委員長

4. 議 事

○規約の一部改訂(案)、第2回淀川左岸線延伸部の淀川左岸堤防区間に関する技術検討委員会 議事要旨、前回委員会の主な意見に対する対応方針(案)について、了承された。

○資料-3-1、3-2 に示す一体構造物の安全性の照査結果について、承認がなされた。ただし、以下のコメントを頂いた。

・堤防の侵食に対する安全性について、低水路部の護岸の力学設計法と平面 2次元流況解析での流速の差が大きい理由については考察しておくこと。

・堤防の洗掘に対する安全性について、検討に用いる洗掘深は解析中における最深河床高を採用するのが妥当ではないか。洗掘深の設定について検討されたい。

・堤防の洗掘に対する安全性について、根固めブロックと土など異種の材料が接する境界が被災をしやすいので、構造に配慮されたい。

・浸透対策工法選定の優先順位の考え方について、2 期の考え方を踏まえ整理されたい。

・不同沈下に対する修復の容易性検証について、天端の不同沈下により窪みが

できて水みちにならないよう、維持管理の検討において配慮されたい。

○資料-4 に示す高規格堤防の照査について(案)について、承認がなされた。

○資料-5 に示す 3 次元解析の解析範囲について(案)について、承認がなされた。

ただし、以下のコメントを頂いた。

・3次元的縦断耐震解析における、剥離や滑動の考慮の有無については整理されたい。

○委員会の検討スケジュール(案)について、了承された。

以 上